

BOOK NEWS

大洲高校図書館
No.2 2020年6月



朝読書 4 原則

1. みんなで行う
2. 毎朝行う
3. 好きな本を読む
4. ただ読むだけ

朝読書がスタートしました！朝の時間を活用して読書を楽しみましょう。

図書館は朝も開いています。本がない人は図書館に来てください。読む本が見つからない人は、担任の先生や図書委員に相談してみましょう。

★様々な分野の本に挑戦してみたいはいかがでしょうか。



朝読書におすすめの新書を紹介します♪



書名 僕人生には事件が起きない 著者 岩井勇気

あらすじ 日常に潜む違和感に芸人が狂気の牙をむく、ハライチ岩井の初エッセイ集！段ボール箱をカッターで一心不乱に切り刻んだかと思えば、組み立て式の棚は完成できぬまま放置。「食べログ」低評価店の惨状に驚愕しつつ、歯医者予約はことごとく忘れ、野球場で予想外のアクシデントに遭遇する……事件が起きないはずの「ありふれた人生」に何かが起こる、人気エッセイがついに単行本化！自筆のイラストも満載！



書名 窓から逃げた100歳老人 著者 ヨナス・ヨナソン

あらすじ 100歳の誕生日パーティーを目前に、おしっこ履きのまま老人ホームを逃げ出した主人公アラン。お酒(とくにウオッカ!)が大好き、宗教と政治が大嫌い。ひよんなことから手にした大金入りスーツケースをめぐるギャングや警察に追われることとなり、途中で知り合ったひと癖もふた癖もあるおかしい仲間とともに珍道中を繰り広げる。アランの逃避行と100年の世界史が交差していく、二重構造ならぬ「百重構造」のドタバタコメディ！

第66回青少年読書感想文全国コンクールの課題図書が決まりました！



『フラミンゴボーイ』

南仏を訪れた青年が遭遇した体験。それは、第二次世界大戦末期、フラミンゴと話ができる力を持つ少年とロマの少女の感動の物語。



『キャバとゲルダ』

生きるために…二人のカメラマンは戦場に向かった。夢と理想を支えに、革命の前線に身を投じた二人の物語。



『廉太郎のフォト』

ライバル、友人、恩師に導かれ、滝廉太郎は日本に新しい音楽を響かせる。明治時代を駆け抜けた天才音楽家の甘く苦い青春小説。

Librarians' Notes

今月の図書紹介は1年生の図書委員おすすめの2冊です。

屍人荘の殺人

今村昌弘

東京創元社

僕がこの本を選んだ理由は真面目なサスペンスと思って読んだときにオカルトやSFの要素が多くあり普通のサスペンスでは使えない限定的なトリックや状況がありとてもおもしろいと思ったからです。また、この本は映画化していて今人気なのでぜひ読んでみてください。

発注いただきました！

朝井リョウ

集英社

この本は「桐島、部活やめるってよ」「何者」などの著者である朝井リョウさんの作品集です。この作品集の変わったところは企業や他の作品とコラボして書かれた作品を集めてあるところです。テーマや企業からの条件など普段読者が知ることのできない部分からも書いてあるので普通の本とは違う楽しみ方ができると思います。